

～よりよい活動となるために～

## 災害時のボランティア活動 ～準備&心得編～

災害時にはボランティア活動が果たす役割は大きく、被災した方や被災地を支える大きな力となります。一方で、ボランティア活動が被災地の人々や、他の支援活動の負担や迷惑にならないよう、ボランティア一人ひとりが自分自身の行動と安全に責任を持つ必要があります。

災害ボランティア活動に参加する際の基本的な注意事項についてご案内します。

### 1. まず...

災害ボランティア活動は、ボランティア本人の自発的な意思と責任により被災地での活動に参加・行動することが基本です。情報を収集して、現地に行くか、行かないかを自分自身で判断しましょう。また、ご家族など周りの方々の理解を得ることも大切です。

### 2. 行く前に ...情報収集・準備がカギです！

被災地の情報を事前に収集することが大切です。現地の状況は刻々と変化しており、ボランティア募集を中断または締切の場合もあります。必ず最新の状況を確認してください。

#### (1) ボランティア募集があるか

・自分が条件を満たしているか 確認しよう！

被災地の災害ボランティアセンター（以下『災害ボラセン』）がボランティア募集をしているか確認しましょう。ホームページで募集内容、参加条件、申込方法を確認！災害ボラセンの指示を守りましょう。

1) ボランティア募集があるか？

2) 対象条件はあっているか？

例) 市内のみ、県内のみ、近隣のみ...

3) 参加方法はどうなっている？

例) 災害 VC に電話で問合せをしてから参加する場合や、直接来場を求める場合など、災害ボラセンによって受け入れ方が異なります。

全国社会福祉協議会『被災地支援・災害ボランティア情報』 <http://blog.goo.ne.jp/vc00000/>

#### (2) 交通手段について

被災地への交通手段は自分で確保するようにしてください。交通費は原則として自己負担になります。緊急車輛や災害復旧作業の妨げにならないよう、現地の状況を見て移動手段を考えましょう。

#### (3) 食事・宿泊場所について

災害ボラセンでは食事・宿泊場所は用意されません。自分自身で手配するようにしてください。食費・宿泊費は自己負担です。また、避難所は被災者の方が避難する

場所であることを、常に心がけましょう。

#### (4) 携行するもの 参照リストあり

その他身の回りのものについてもボランティア自身が事前に用意し、携行の上被災地に行ってください。

#### (5) ボランティア活動保険に加入する

沖縄県内の社会福祉協議会で事前に加入できます。

### 3. 被災地での行動について

#### (1) 災害ボラセンでボランティア活動登録を行う！

現地の災害ボラセンや社会福祉協議会のコーディネーターがニーズ把握を行っています。必ず災害ボラセンやボランティアコーディネーター等、現地受け入れ機関の指示、指導に従って活動してください。単独での行動は、安全上の観点からも絶対におやめください。

#### (2) 被災地での緊急連絡先・連絡網を必ず確認！

あわせて地理や気候など周辺環境の把握も大事です。

#### (3) 無理はしない！

自分にできる範囲の活動を行ってください。休憩を心がけましょう。無理な活動は、思わぬ事故につながり、かえって被災地の人々の負担となってしまいます。

#### (4) 被災した方々の気持ちやプライバシーを尊重しよう！

- ・マナーある行動
- ・言葉づかい
- ・自分から自己紹介をしよう
- ・身分証の携帯
- ・写真撮影はひかえる

#### (5) 分からないこと、困ったことは災害ボラセンに尋ねよう！

### 4. 復興の主人公は、被災した方々です！

ボランティアはあくまでも“サポーター”であることを忘れないようにしましょう。

～よりよい活動となるために～

**災害時のボランティア活動 ～持ち物編～**

災害時のボランティア活動は、“自己完結”(水・食料・宿泊を自分で準備すること)が求められます。下記のリストは、あくまでも必要備品の例です。被災地の気候や状況にあわせて判断して下さい。

✓	品目	用途	備考
	食料	自分の食事	すぐに食べられるものを数日分
	水	自分の飲み物	
	寝袋	自分の宿泊用	防寒用タイプ。寝袋に記載されている使用可能な温度範囲を確認し、使用する地域の温度に合った物を選んでください
	携帯電話	連絡のために必須	
	ラジオ	情報収集のため	
	現地の地図		
	懐中電灯		
	充電器・充電電池		電源がないところでは、太陽光発電充電器が役立つかもしれません
	筆記用具		
	メモ帳		
	応急医療品		目薬(現地は粉塵も予想されます)
	マスク	現場で作業するとき	
	軍手		
	ゴム手袋		
	長靴	雨天時	
	雨具	雨天時	
	帽子	雨天時の視界の確保	落下物がある場合にも役に立ちます
	防寒具		
	上履き		
	着替え	作業して汚れた時の着替え	
	タオル	汗ふき	数枚あったほうがよいでしょう
	ティッシュペーパー		ウエットティッシュもあればよいと思います
	トイレットペーパー		
	自分の食器		
	ビニール袋		
	カイロ		
	現金		ボランティア保険料(自身のケガ等の保険)も必要です
	運転免許証等	身分を証明するもの	
	保険証の写し	医療機関にかかる場合	